

2021年8月5日

トリナ・ソーラー ブラジル最大級の 850MWp 太陽光発電プロジェクトに 210mm セル採用 Vertex モジュールを出荷

【2021年8月4日/PR Newswire】太陽光発電およびスマートエネルギーのトータルソリューションを提供する世界有数の企業 Trina Solar Co., Ltd. (SH:688599) (以下「トリナ・ソーラー」または「同社」) は、ブラジルのバイア州ジュアゼイロ市でフォーカス・エネルギー社が開発を進めている、22 の太陽光発電所を有する「フューチュラ(Futura)1 プロジェクト」に、主要メーカーとして同社の太陽電池モジュールを提供することを発表しました。

このプロジェクトは、3つのフェーズで実施されます。第1フェーズの設置容量は850MWpで、現時点ではブラジル最大級のプロジェクトとなります。

第1弾として、8月の第2週に600Wシリーズの太陽電池モジュール59,292枚を梱包した108個のコンテナが中国から出荷されます。今回出荷されるのは、業界最先端技術を搭載した210mmセル採用Vertexシリーズの両面発電モジュールです。600Wを始めとする、トリナ・ソーラーが現在生産している高出力製品は、来年に向けてすでに発注可能となっている670Wへとつながっています。

トリナ・ソーラーのラテンアメリカ・カリブ地域担当副社長のアルバロ・ガルシア・マルトラスは、「トリナ・ソーラーには、最先端の技術と高性能なモジュールがあります。それがフォーカス社に選ばれた理由だと思います」とコメントしました。

フォーカス・エネルギー社によると、このプロジェクトで発電された電力は、すべて自由市場で販売する想定であるということです。この戦略は、再生可能エネルギー発電事業者が、ANEEL(ブラジル電力規制庁)が推進するオークションに参加するのではなく、顧客と直接交渉することを好む傾向にあるという最新のトレンドに沿ったもので、買い手が売り手を選択する余地がない専属市場を対象とするものです。

フォーカス社のCEOであるAlan Zelazo氏は、このシステムの導入により、2,000人の直接雇用と4,000人の間接雇用が生み出されると見込んでいるとのこと。それに加え、フューチュラ1プロジェクトはまさに時を得たものとなりました。「このプロジェクトは長期的なものですが、干ばつや洪水などの影響で水力発電が難しい時期にあって、国と協力して太陽光発電で電力を補えることを嬉しく思います。」とZelazo氏は語りました。

このプロジェクトはすでに進行中で、550人が働いています。操業開始は2022年4月を予定していません。

▽トリナ・ソーラー(SH証券コード:688599)について

トリナ・ソーラーは、太陽電池モジュール、ソリューション、サービスのグローバルリーダーです。1997年に太陽光発電システムのインテグレーターとして設立されたトリナ・ソーラーは、現在、世界中のEPC、施工業者、販売店、電力会社、開発者と共にスマートエネルギーを推進しています。同社は、卓越した技術革新、優れた製品品質、垂直統合能力、そして環境への配慮により業界をリードしています。

詳細については、<http://www.trinasolar.com/jp>をご覧ください。

【本件に関するお問合せ】

トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社

プレス担当:春日(マーケティング)

* 政府の指針に伴い在宅勤務実施中のため、メールにてご連絡お願いいたします。

Yuko.kasuga@trinasolar.com